

▲米國の鳥類蒐集家コール氏の訃　北米イリノイ州ハ
イラントパークの世界的鳥類標本蒐集家コール氏（*Mr.*
Henry K. Coate）は短日の病の後一九二六年十月三十
一日逝去せられたとの通知があつた。氏は米國鳥學協
會のアツソシエイト・メンバー中の只一人の *Honorary*
Life Associate として知られた人で氏は二つの大なる

採集物を造り一八八〇年に其一方を大英博物館が購入し地の一方は一・〇〇〇個以上（北米及外國産鳥類）あつてそれは氏の逝去迄保存せられて居つた。尙ほ氏は一九〇九年（明治四十二年）東大動物學教室の飯島教授に宛て、日米鳥類交換を申込み少數の米鳥類を送り來つた。その時飯島教授の紹介によつて黒田博士と交換を開始することとなり以後兩者間に交換せる回数大正十五年四月迄に實に四十回の多きに達し目下黒田家標本室の外國鳥類中コール氏より送附のものその大部分を占めて居る。此間松平頼孝子とは黒出博士の紹介にて幾回かの交換がなされたとのことである。今回氏を失ひしは斯學研究家の等しく遺憾に堪へぬ處である。（略歴は本年一月號のオーク一六五頁を參照ありたし）。